

「（仮称）千葉県多様性が尊重され誰もが活躍できる社会の形成の推進に関する条例」の制定の背景

いま我が国は、人口減少や少子高齢化が進行し、生産年齢人口も減少しています。さらに、グローバル化の進展や技術の革新など、私たちを取り巻く環境も大きく変化しています。

こうした中で、千葉県を持続的に発展させていくためには、年齢、性別、障害の有無、国籍及び文化的背景、性的指向及び性自認などの様々な違いがある人々が互いに認め合い、連携し、協力することで、社会の活力と創造性を高めていくことが重要です。

多様性を尊重することにより、あらゆる立場の人々の意見が表に出てくることで、新たな気付きや発想、変化が生じたり、違った個性や能力を持つ者が影響し合うことで、これまでにないアイデアや革新的な取組、個人ではなし得なかった結果に結びつくことが期待できるなど、持続可能な千葉県づくりにつながると考えています。

このような認識の下、本条例では「多様性が尊重され誰もが活躍できる社会」を目指すこととしています。これは、一人ひとりが様々な違いがある個人として尊重され、誰もが参加し、その人らしく活躍することができる社会のことであり、多様性を尊重することは、自分の価値観や意思を捨てて相手と同じになるものでも、相手を絶対に受け入れるべきと強制されるものでもなく、相手を尊重しながら異なる価値観や意思を理解し、連携し、協力するものであると考えています。

いま千葉県は、

- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピックの県内開催により、国籍や文化的背景などの違いを乗り越えてフェアに競い合う姿や、パラアスリート等の活躍する姿に触れ、多様性を尊重することの意義についての認識が高まっている
- ・成田国際空港の更なる機能強化や道路ネットワークの整備進展等により、外国人の往来や交流人口の増加など、ヒトやモノの流れが一層活発化することが見込まれているなど、多様性を活かせる舞台が整い、活力や創造性を一層向上させる好機を迎えています。

この機会に、多様性が尊重され、誰もが活躍することができる千葉県づくりを進めていくため、条例を定めたいと考えています。

【多様性を尊重することにより期待される取組や効果の例】

- ・デジタル技術の進展により、障害を抱える方や子育て中の方、日本語が不自由な外国人など、これまで活躍の機会が限られていた人々が、オンライン会議や翻訳機器等により多くの選択肢と機会を持ち、能力を最大限に発揮できるようになる。
- ・日本の伝統や文化を保存・承継しながら、それらにデジタル技術を活用して体験したり、発信することで、観光振興や交流人口の増加につながる。
- ・異なる視点や発想を持つ外国人や地域外の人によって、地元の人々がこれまで気づいていなかった地域の魅力が再発見され、観光需要が喚起されるなど、地域の活性化につながる。